



産業技術研究所

平成19年5月7日（月）  
愛知県産業技術研究所 企画連携部  
担当 加藤（浩）、小久保  
電話 0566-24-1841  
愛知県産業労働部地域産業課  
技術振興・調整グループ 担当 石川、高須  
内線3360、3362

## 750社の新規訪問で利用企業の掘り起こしへ

### —技術支援の強化に向け産業技術研究所が企業訪問を重点化—

愛知県産業技術研究所（所長：大西保志）は、平成19年度の重点取り組み事項として数値目標を定めた企業訪問を掲げ、新規利用の掘り起こしを図る方針を定め、5月から実施します。

新規訪問先は、これまで研究所を利用したことのない県内中小企業や、商工団体、金融機関などで、研究所の技術職員150名が一人あたり5社を訪問して、研究所の技術サービスを紹介し、利用を呼びかけます。

また、訪問を希望する企業や団体からの申込みも受付けています。

多くのベテラン技術者が定年を迎えるいわゆる2007年問題や雇用の流動化など、中小企業のモノづくり技術の空洞化が懸念される中、研究所が技術支援をアピールすることで、本県の基盤であるモノづくり産業の技術力強化を目指します。

#### 1 背景

産業技術研究所は、モノづくり企業の総合支援機関として、年間3万件を越える技術相談に対応しており、このうち企業の現場に出向いて問題の解決に当たる現場指導は、年間約1,600件に上ります。

しかし、愛知県内に集積する23,000社のモノづくり企業（従業員4人以上）のうち、研究所を利用している企業は数千社と考えられることから、企業の中には技術課題を抱えながらも相談先がわからず苦慮するケースも多く存在すると予想されます。

研究所では、今回の新規企業訪問により、これら潜在的なニーズを掘り起こし、企業の技術支援を一層強化するとともに、訪問先で収集したニーズ情報を基に、新たな研究開発テーマを発掘することも考えており、地域企業との密接な関係構築が研究所の活性化にもつながることを期待しています。

## 2 昨年度の実績及び今年度の戦略

新規企業の訪問は、昨年度から重点的に実施しており、昨年度は数値目標（一人あたり4社）を達成しました。中には、訪問をきっかけとして技術相談が持ち込まれ、自動車部品の品質管理問題が解決した事例や、共同研究の申込みを受けた事例、輸入食品の異物混入対策が改善した事例など、具体的な成果が上がっており、所期の効果が得られました。

本年度は、昨年度同様の4社に加え、地域企業の事情に詳しい商工会議所などの商工団体、金融機関等を戦略的に訪問することとしており、昨年度に比べ1社多い、一人あたり5社の数値目標を設定しています。

また、訪問を希望される企業や団体からの申込みも受け付けています。詳しくは以下の問合せ先にお尋ねください。

## 3 研究所の技術サービスについて

産業技術研究所では、以下のような技術サービスを提供しており、企業訪問により利用を呼び掛けていきます。

技術相談・指導	製品開発における技術上の様々な問題について、研究員が相談・指導に応じます。また、必要に応じて技術アドバイザーを派遣する制度もあります。
依頼試験	製品の品質管理、製品開発に役立つため、企業の方からの依頼により、各種の材料・製品の試験、分析、測定などを行います。
研究開発	産業界における様々な技術ニーズに対応した技術課題に関する研究開発を行い、その成果を地域産業界に広く普及し、企業の技術開発力の向上をめざします。
技術情報の提供	研究開発成果や新しい技術情報の普及を図るための講演会及び講習会を開催します。産技研ニュース、ホームページなどにより、企業の技術力向上に役立つ情報を発信します。
人材育成	企業から研修生を受け入れ、新製品・新技術を産み出す創造開発型の人材を育成します。

## 4 技術サービスの受け付けについて

研究所では、企業からの技術相談や依頼試験を随時受け付けています。多くの方のご利用をお待ちしています。

## 5 問合せ先

愛知県産業技術研究所

刈谷市一ツ木町西新割 〒448-0003

TEL 0566-24-1841 FAX 0566-22-8033

担当：企画連携部 加藤（浩）、小久保